

2022年12月期 第1四半期決算



補足説明資料

株式会社テクノフレックス
証券コード:3449

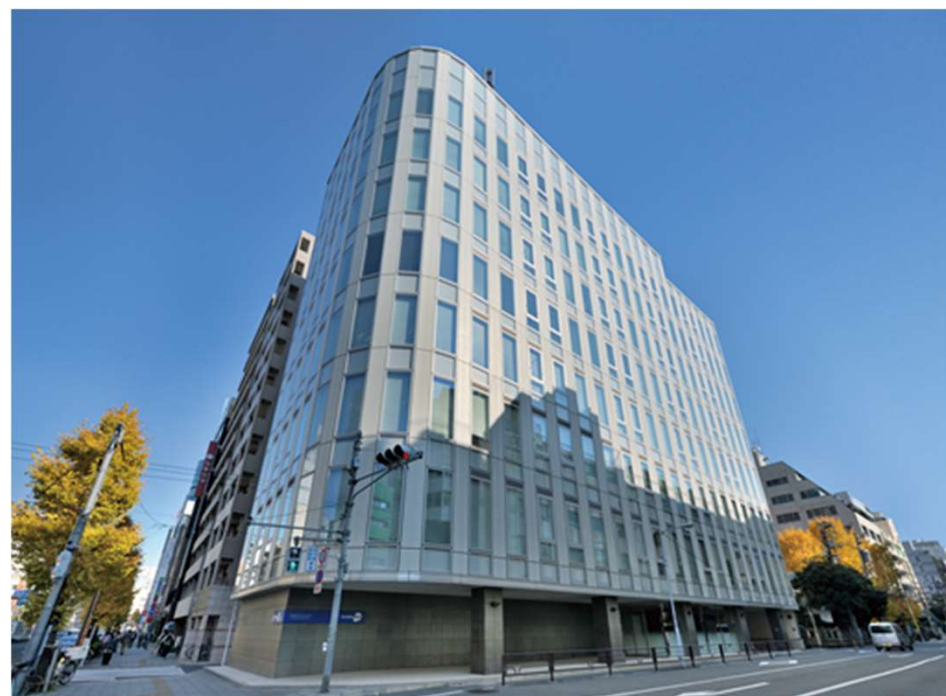
- ✓ 本資料に記載された将来の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成されたものであり、将来発生する様々な要因により、異なる結果となる可能性を含みます。
- ✓ 2018年12月期は、決算短信、有価証券報告書、四半期報告書及び連結計算書類を作成していないため、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和51年大蔵省令第28号)に基づき作成した連結財務諸表の数値を、参考情報として記載しております。
- ✓ 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しており、2022年12月期の業績予想(計画)も、当該会計基準を適用した後の金額を記載しております。
- ✓ 2021年12月期の実績は「収益認識に関する会計基準」を適用する前の金額を記載しております。
- ✓ 2022年12月期と2021年12月期以前とを比較した記載は、会計基準が異なることから、参考情報として記載しております。
- ✓ 当社は、連結対象の完全子会社「株式会社アクアリザーブ」と合併いたしましたが、本合併は2022年4月1日付の合併であるため、当第1四半期(2022年1月1日～3月31日)の業績への影響は軽微です。

1. 2022年12月期 第1四半期決算概要

2. 2022年12月期 業績予想

3. 会計基準の変更による
配当金等への影響

(補足資料)
テクノフレックスの概要



1. 2022年12月期第1四半期決算概要

2022年12月期 第1四半期 連結業績 1 前年同期比・計画比



◆ 連結業績(前年同期比・計画比)

単位:百万円

	連結業績		前年同期比 (伸長率)		計画比(進捗率)			
	2021_1Q	2022_1Q			2Q累計		通期	
連結売上高	4,445	5,553	+1,108	+24.9%	10,550	52.6%	20,650	26.9%
連結営業利益	742	878	+136	+18.4%	1,350	65.1%	2,500	35.1%
親会社株主に帰属する 当期/四半期純利益	487	588	+100	+20.7%	950	61.9%	1,850	31.8%

● 連結売上高

- ✓ 主力の継手事業が好調であり、更に他のセグメントも概ね良好に推移したため、前年同期比で増収となりました。継手事業では、フレキシブル継手のスプリングラ用と真空機器のクライオホース(共に継手事業)が、特に好調でした。
- ✓ 防災・工事事業は、首都圏再開発の消防設備工事が、売上に大きく貢献しました。
- ✓ その結果、当期1Qの連結売上高は、前年同期比+1,108百万円(+24.9%)となりました。

● 連結営業利益

- ✓ 連結売上高の増加により、連結営業利益が増加しました。
- ✓ 計画比では、高付加価値製品の売上増加と、利益率の高い工事案件が複数重なったことから、大きく進捗しました。
- ✓ 前期は、1Qが最も利益率が高かったため、前年同期比+136百万円(+18.4%)となりました。

● 親会社株主に帰属する四半期純利益

- ✓ 連結営業利益の増加に伴い、前年同期比+100百万円(+20.7%)となりました。

※ 当期計画には、千葉工場の拡張工事に伴う費用発生等を見込んでおりますが、当期1Qは工事着工前のため、業績への影響は軽微でした。

2022年12月期 第1四半期 連結業績 2 四半期業績の推移



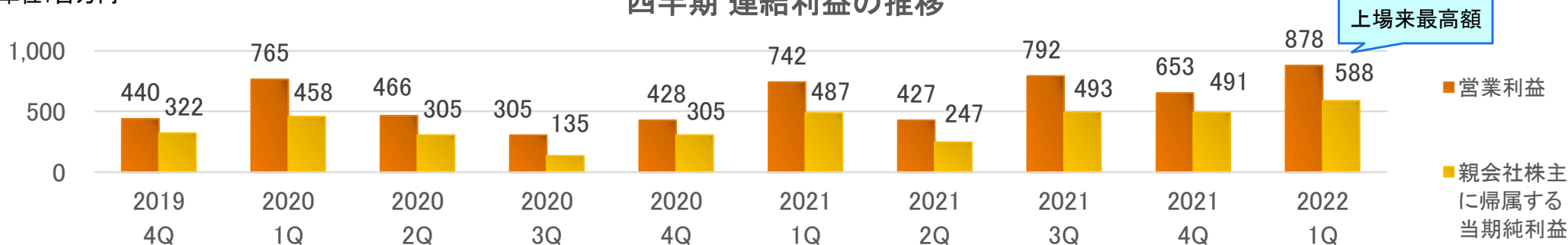
単位:百万円

四半期 連結売上高の推移



単位:百万円

四半期 連結利益の推移

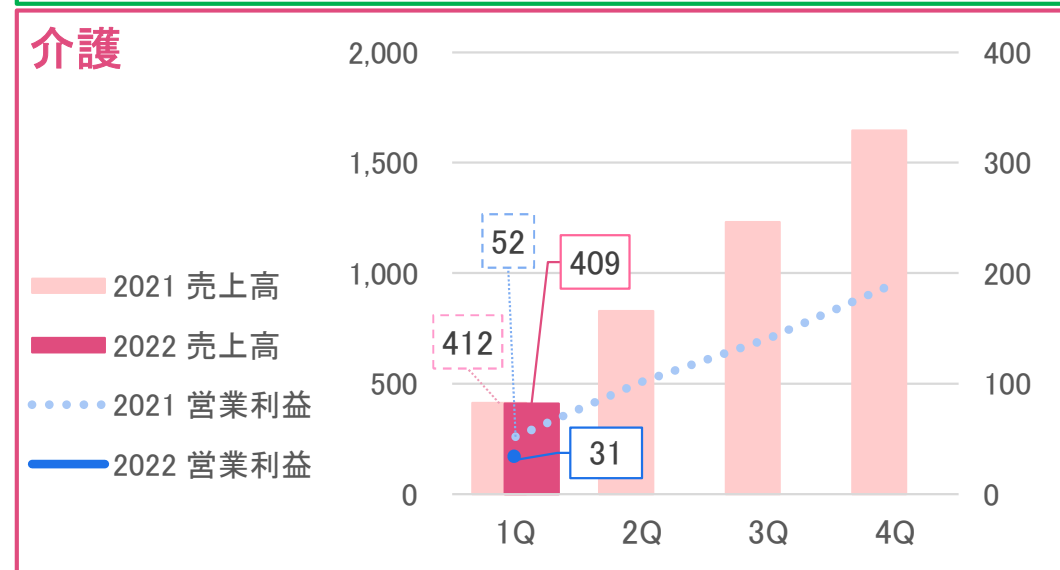
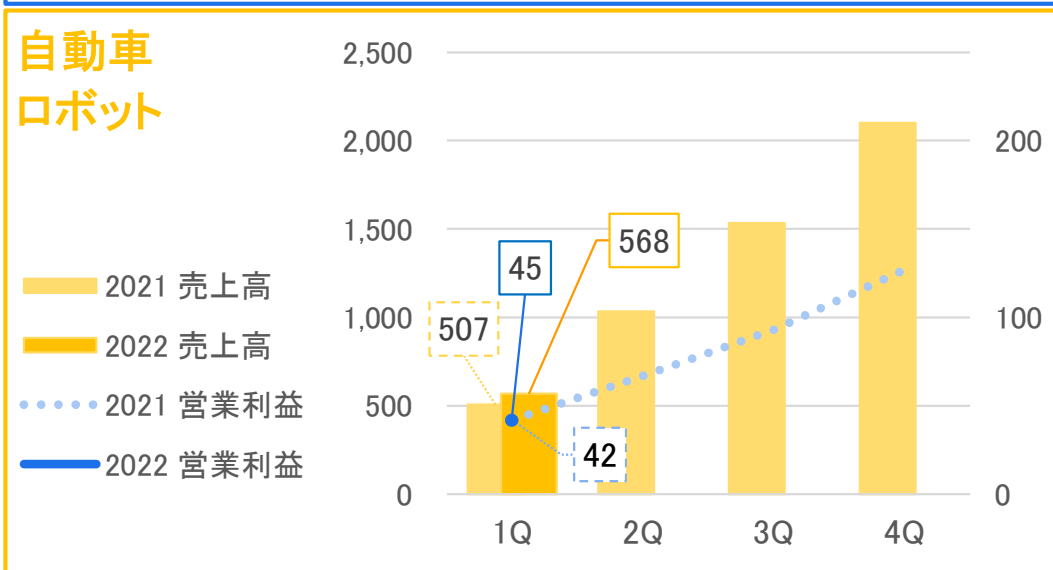
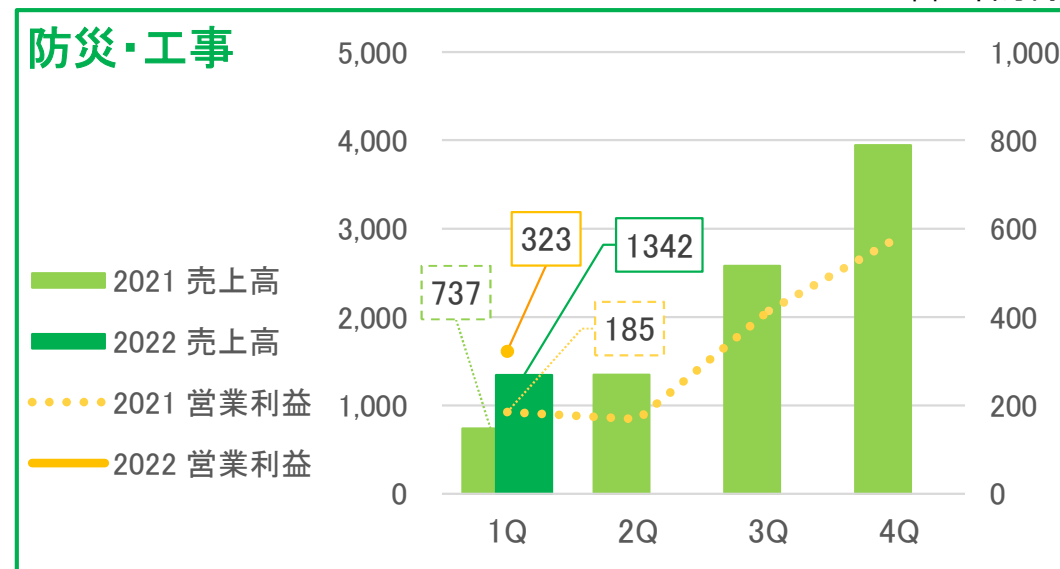
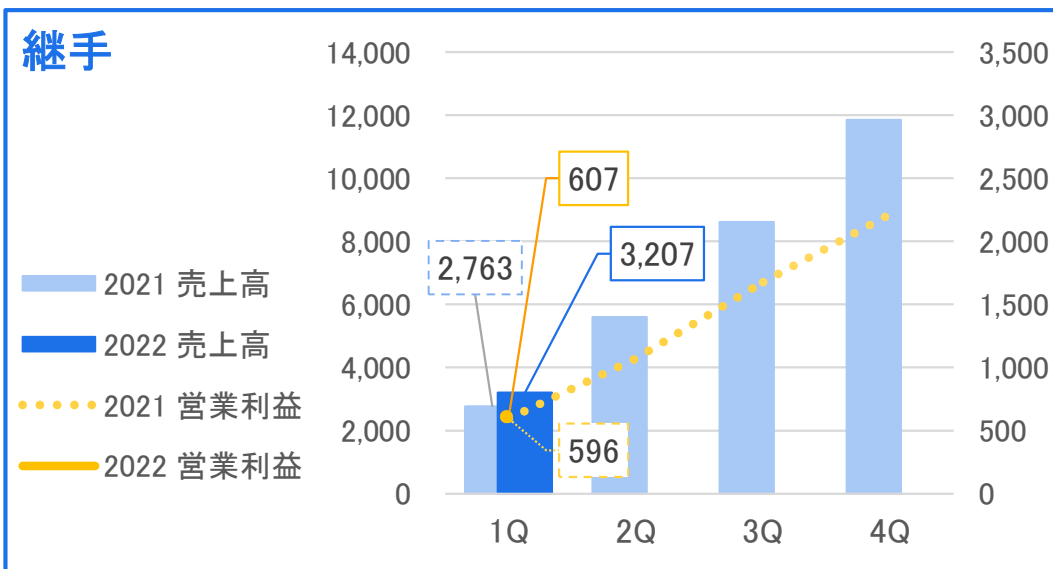


- 半導体分野の設備工事と消防設備工事で大型工事が入ると、四半期の収益が大きく増加します。
- 2019年4Qに株式上場後、2020年1Qをピークに業績が低迷しましたが、前期2021年3Qから急速に業績が回復し、2021年4Qに四半期の連結売上高が、株式上場来最高額となりました。
- 当期2022年1Qの四半期業績は、連結売上高が株式上場来2番目の額、連結営業利益と親会社株主に帰属する四半期純利益が株式上場来最高額となりました。
- 四半期の収益は、受注の波により上下しますが、現在は、低迷前と比べ高い水準で推移しております。

2022年12月期 第1四半期 セグメント業績 前年同期比(累計)



単位: 百万円



- 主力の継手事業を含む3つの事業セグメントで、収益が前年同期比プラスでした。
- 介護事業の売上は、微減でした。介護事業の営業利益の減少は、SUN福祉工場の事業承継費用が主な要因です。

◆ 継手事業(1)

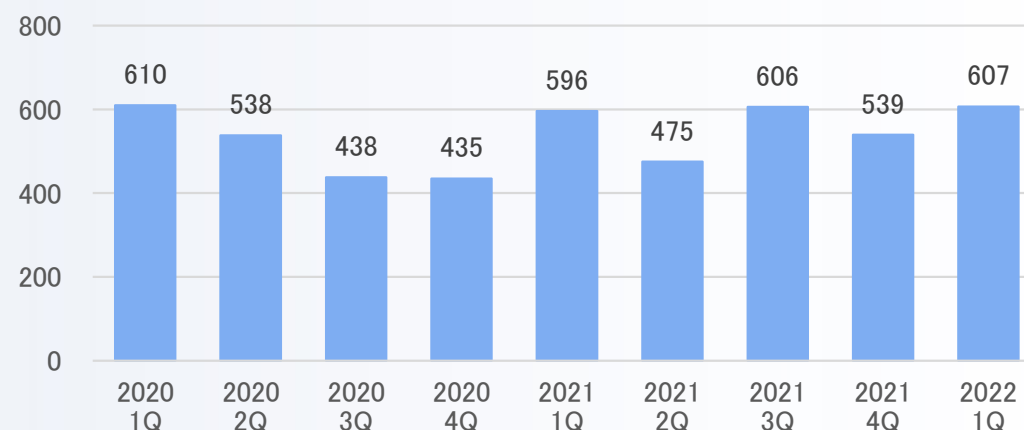
売上高の推移

単位:百万円



営業利益の推移

単位:百万円



- 継手事業は、前年下期からの好調が継続し、フレキシブル継手、伸縮管継手、真空機器の3つの事業全てが、前年同期比プラスとなりました。

➤ フレキシブル継手

- ✓ 前期、多くの首都圏再開発工事で採用されたことで、右肩上がりの成長を見せたスプリンクラー用が、日本全国への波及により、当期も右肩上がりで成長しています。当期1Qには、受注が予測を大きく上回り、一時的に出荷遅れが発生しましたが、現在は解消され、順調に売上を伸ばしています。
- ✓ 半導体分野は、メーカーの大型設備投資に関連して、真空機器のみならず、一般産業向けのフレキシブル継手も売上が増加しました。
- ✓ 水道分野は、コロナ禍で低迷していたSDF工法用(老朽化した水道本管の交換用)に回復の兆候が現れ、1Qの計画を達成しました。

◆ 継手事業(2)

➤ 伸縮管継手

- ✓ 前年下期から受注が増加しており、当期1Qは前年同期比で大きく売上を伸ばしました。
- ✓ 特に、原子力発電所等の電力分野で需要が拡大しております。
- ✓ 大型案件の延期がありましたが、当期2Qに計上できる予定です。

➤ 真空機器

✓ 半導体分野

- NAND型メモリーメーカーの工場で、新たな設備工事が開始され、売上が増加しました。
- 上記のメーカーで、2Qから、更に大規模な設備工事が開始されることに伴い、半導体製造装置等のメーカー向けの出荷が大幅に増加しました。

✓ 長尺ホース(チラーホース、クライオホース)

- 極低温用に使用されるクライオホースが、大きく売上を伸ばしました。
国産のクライオポンプメーカーが、マーケットシェアを拡大したためと推測されます。

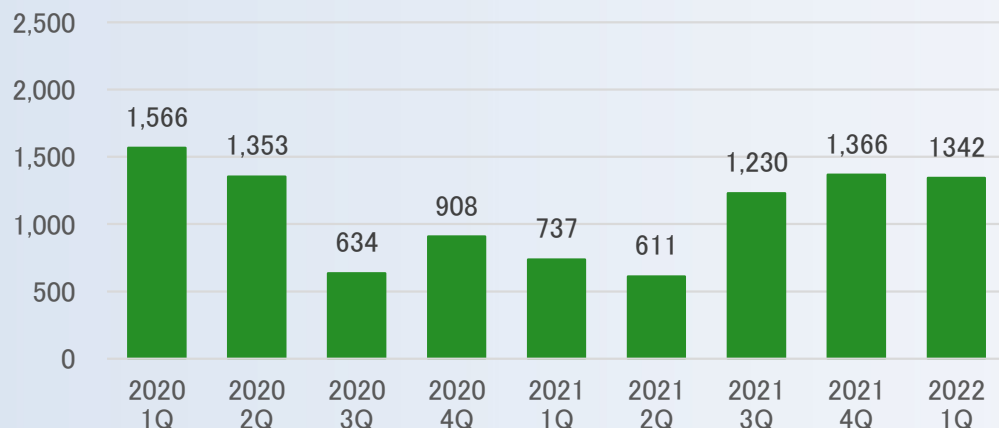
✓ 海外向け出荷(上海工場)

- 2月まで順調に売上を伸ばしていましたが、中国上海市で新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウン(都市封鎖)が実施され、3月途中より、上海工場からの出荷が制限されました。
- 上海市の感染状況が先行き不透明であるため、国内の生産比率を高める等の調整により、対応しています。

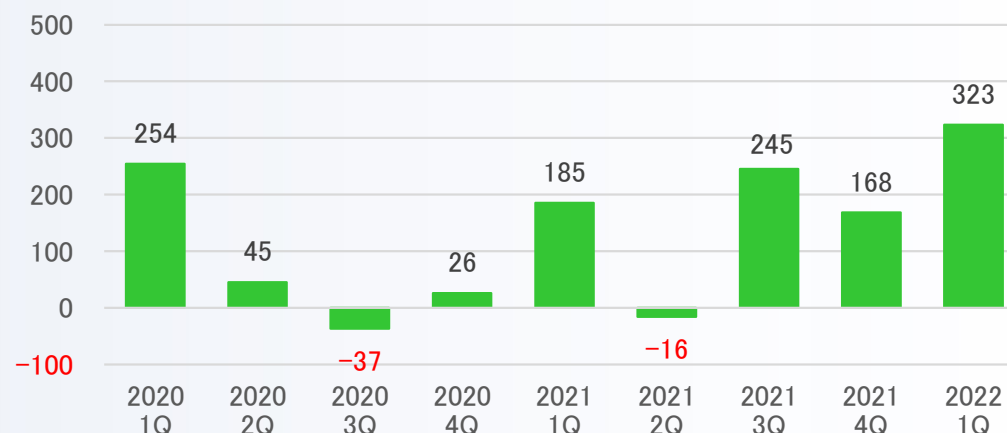
- 以上のことから、継手事業の前年同期比は、売上高は+444百万円(+16.1%)、営業利益+10百万円(+1.8%)となりました。

◆ 防災・工事事業

売上高の推移 単位:百万円



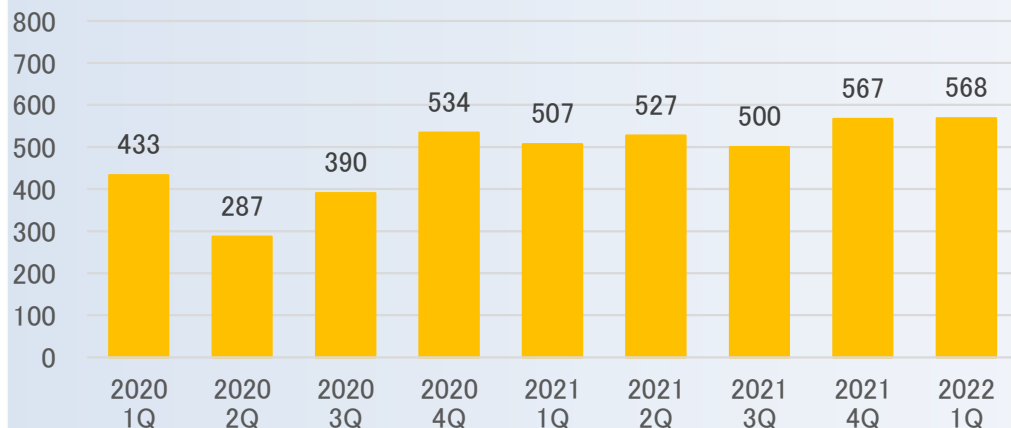
営業利益の推移 単位:百万円



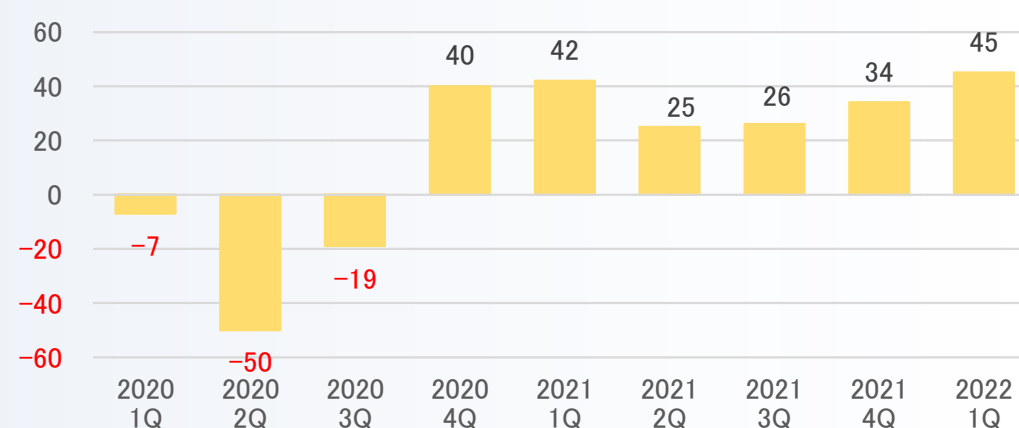
- 防災・工事事業は、消防設備工事が前年下期からの好調を維持し、四半期営業利益が株式上場来最高額となりました。
- 消防設備工事
 - ✓ 首都圏再開発の消防設備工事は、売上好調が継続しています。
 - ✓ 売上好調に加え、高利益率の工事売上也重なったため、営業利益が大幅に増加しました。
- 防災用貯水タンク
 - ✓ 企業のBCP向けの出荷が増加しましたが、住宅メーカー向けの出荷が低調であり、前期1Qと同程度の売上でした。
 - ✓ 防災用貯水タンク事業を担う(株)アクアリザーブは、本年4月1日付で、当社と合併しました。今後は、(株)テクノフレックスと一体となり、防災用貯水タンクの開発、製造、販売に努めて参ります。
- 以上のことから、防災・工事事業は、四半期売上高が前年同期比+605百万円(+82.0%)、四半期営業利益が株式上場来最高額の323百万円となり、前年同期比+138百万円(+75.0%)となりました。

◆ 自動車・ロボット事業

売上高の推移 単位:百万円



営業利益の推移 単位:百万円



● 前期からの好調が継続し、四半期の売上高と営業利益が、株式上場来最高額となりました。

➤ 自動車分野

✓ 前期と同様に、部材等の供給遅延による減産が、自動車メーカーで度々発生しておりますが、影響は限定的であり、堅調に推移しています。

➤ ロボット分野

✓ ロボット分野は、半導体不足等による影響が発生しておりますが、需要拡大の勢いが勝り、右肩上がりの成長を継続しています。

✓ 半導体メーカーの設備工事等により、ロボット以外の機械装置向け製品も、売上が増加しています。

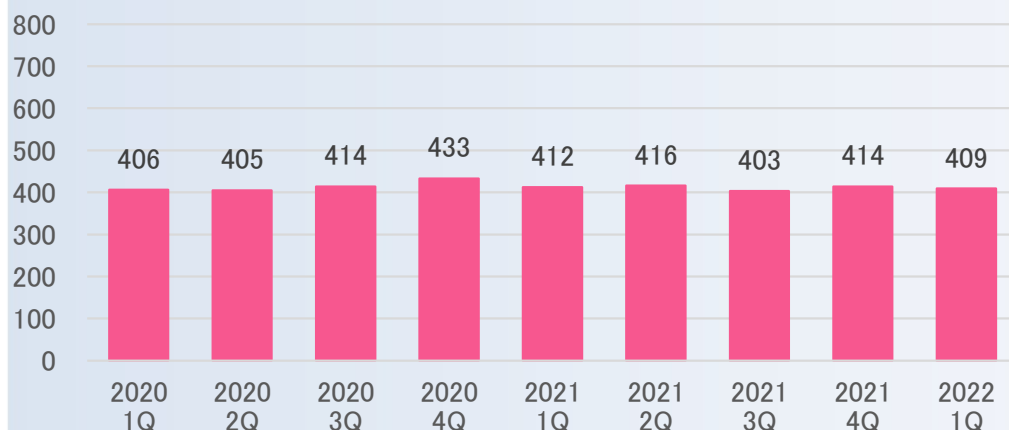
➤ 以上のことから、自動車・ロボット事業の四半期売上高は、株式上場来最高額の568百万円となり、前年同期比は+60百万円(+12.0%)となりました。

四半期営業利益も株式上場来最高額となり、45百万円でした。前年同期比は、+3百万円(+7.3%)となりました。

◆ 介護事業

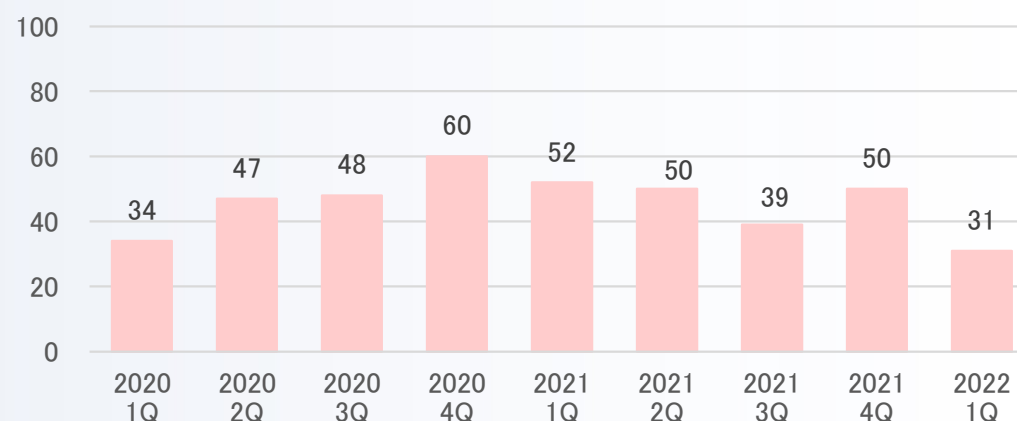
売上高の推移

単位:百万円



営業利益の推移

単位:百万円

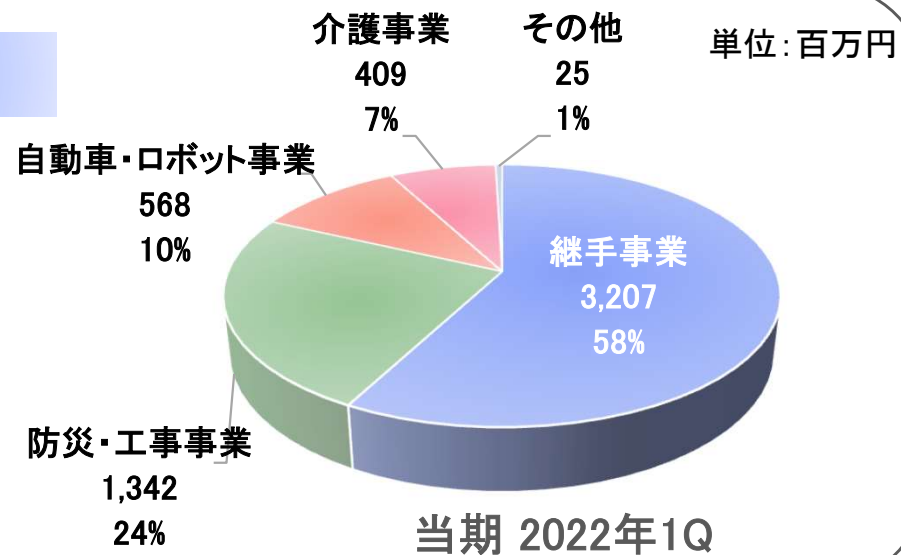
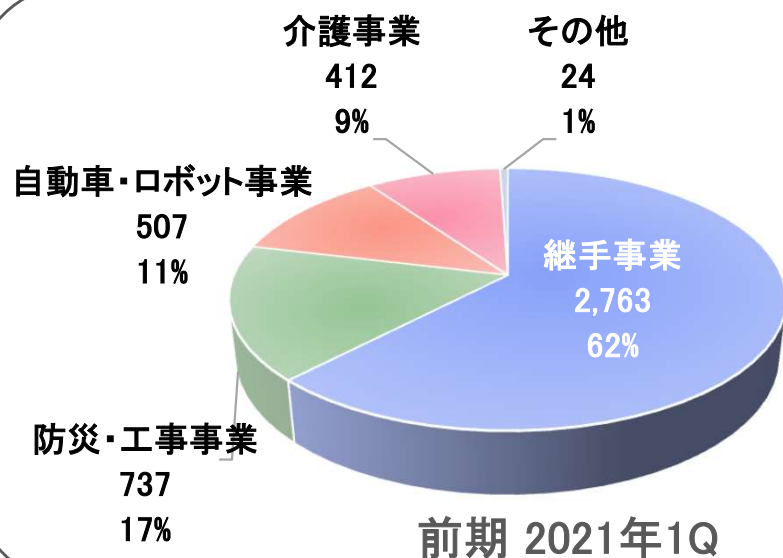


- 介護用品のレンタルを主軸としているため、コロナ禍でも継続契約に支えられて、底堅く推移しています。
- 営業利益の大幅な減少は、宮城県塩釜市で介護用品のレンタル・販売およびリフォーム業を営むSUN福祉工房の事業を承継した際の費用発生によるものであり、一時的な要因です。
- 以上のことから、介護事業の前年同期比は、売上高▲2百万円(▲0.7%)、営業利益▲20百万円(▲39.5%)となりました。

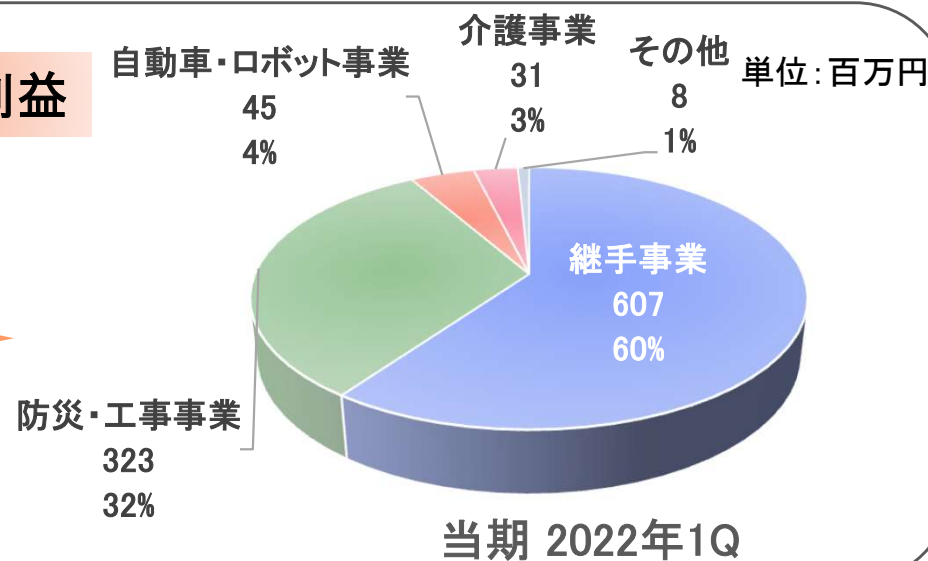
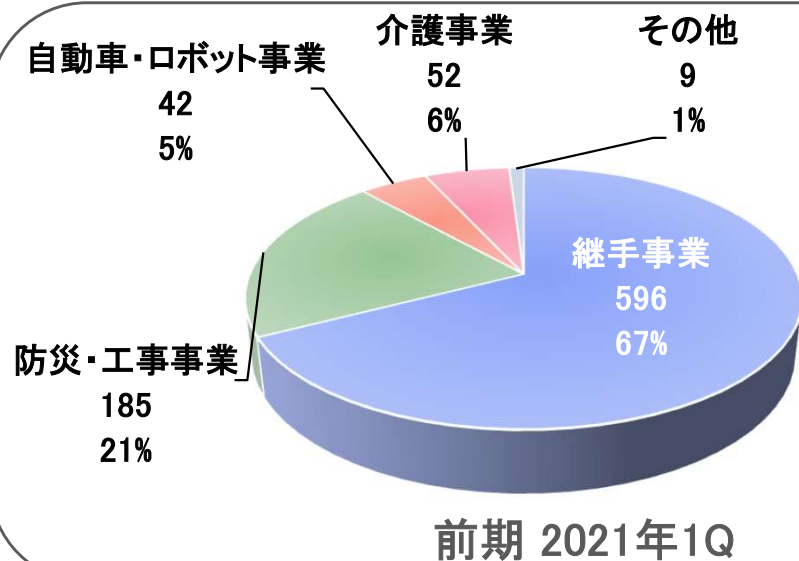
2022年12月期 第1四半期 セグメント構成比



売上高



セグメント利益



2. 2022年12月期 業績予想

2022年12月期連結業績予想 SUMMARY



◆ 連結業績予想

単位:百万円

	2Q累計(上期)		通期	
	前期2021年 2Q累計業績	2022年業績予想(計画) (2021年2Q累計比)	前期2021年 通期業績	2022年業績予想(計画) (2021年通期比)
連結売上高	8,857	10,550 (+19.1%)	19,633	20,650 (+5.2%)
連結営業利益	1,169	1,350 (+15.4%)	2,615	2,500 (▲4.4%)
親会社株主に帰属する 当期/四半期純利益	734	950 (+29.4%)	1,718	1,850 (+7.6%)

※ 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用するため、上記の2022年予想は当該会計基準を適用した後の金額、2021年実績は当該会計基準を適用する前の金額です。()の増減率は、参考情報として記載しております。

- 当期の市場環境は、概ね良好な状態で推移するものと思われれます。
- 特に主力の継手事業が、大きく売上が伸びる見込みです。
- 上期に、真空機器(継手事業)と消防設備工事(防災・工事事業)で大規模な工事が予定されているため、2Q累計の比率が高い業績予想としています。
- 前期2021年12月期は、消防設備工事で高利益の特殊案件があり、計画に対し利益の上振れが生じました。
- 2022年12月期の業績予想は、上記の利益上振れと、千葉工場拡張工事※¹によるコスト増加等を勘案したため、連結営業利益は前年同期比マイナスの予想となっています。
- 親会社株主に帰属する当期純利益には、株式会社アクアリザーブとの合併※²効果を想定しております。

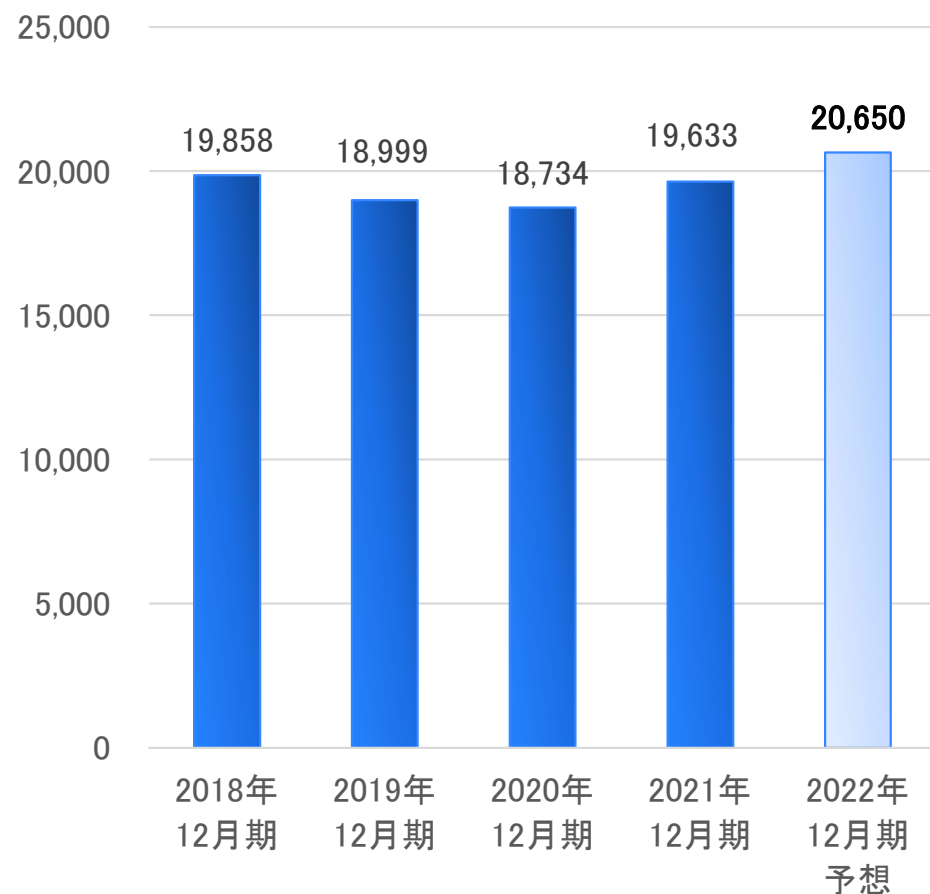
※¹ 千葉工場の拡張について <https://ssl4.eir-parts.net/doc/3449/tdnet/2047739/00.pdf>

※² (株)アクアリザーブの吸収合併について <https://ssl4.eir-parts.net/doc/3449/tdnet/2070066/00.pdf>

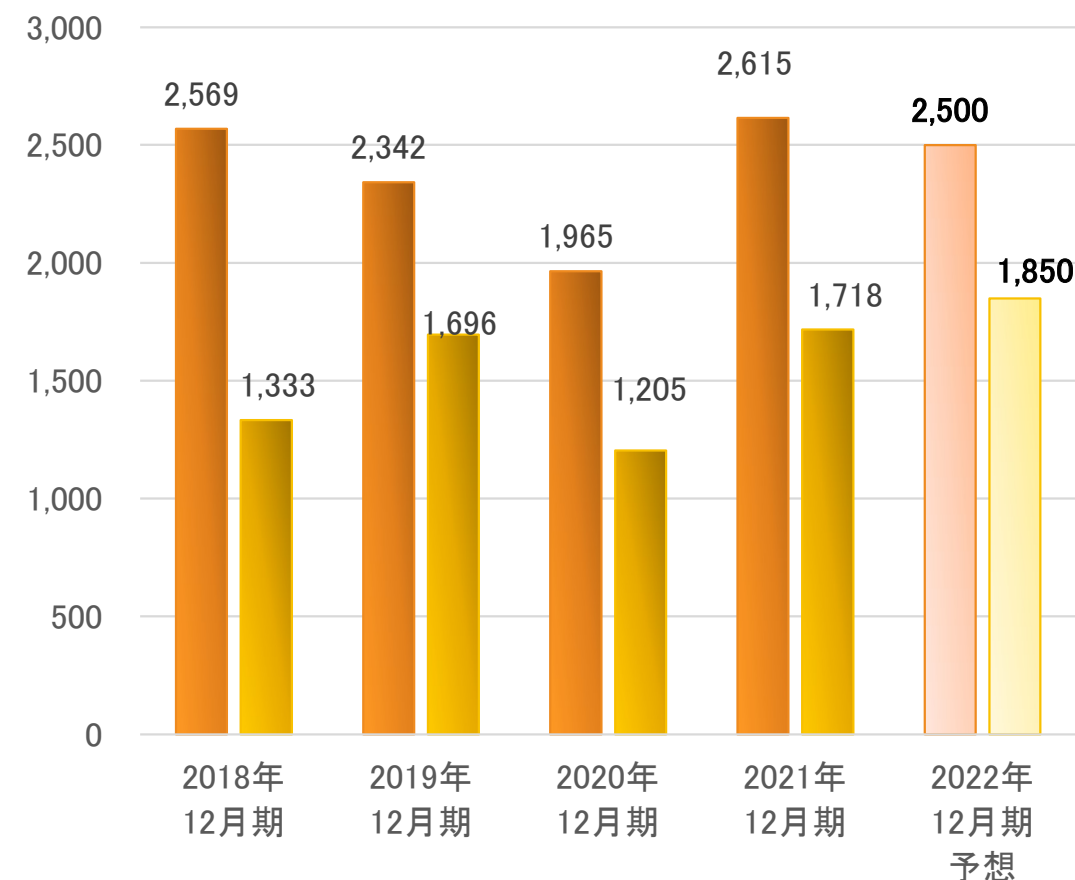
2022年12月期連結業績予想(直近4年間の実績と比較)



単位:百万円



単位:百万円



※ 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用するため、上記の2022年予想は当該会計基準を適用した後の金額、2021年以前の実績は当該会計基準を適用する前の金額です。

◆ 継手事業

- 全体的に良好な推移となり、引き続き売上が増加する見込みです。
 - フレキシブル継手
 - ✓ スプリンクラー用は、全国への普及が進み、当期も売上が大きく伸びる見込みです。
 - ✓ 一般産業用は、半導体分野を中心に、売上が増加する見込みです。
 - ✓ 水道分野は、コロナ禍で低迷していたSDF工法用(老朽化した水道本管の交換用)で、1Qに回復の兆候が現れており、今後の回復に期待しています。
 - 伸縮管継手
 - ✓ 原子力発電等を中心に、電力関係で売上が増加する見込みです。
 - 真空機器
 - ✓ 半導体分野は、当期2Qから、NAND型メモリーメーカーが大規模な設備工事を開始する予定であり、好調であった前期2021年12月期の売上を上回る見込みです。
 - ✓ チラーホース・クライオホース等の装置向け長尺製品は、当期も順調に売上が伸びており、更に、上記のNAND型メモリーメーカーでの設備工事も、売上増加を加速させる見込みです。
 - ✓ 中国の上海市で、新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウン(都市封鎖)が実施され、上海工場からの出荷に制限が生じていますが、現時点では業績への影響は軽微と見込んでおります。

◆ 防災・工事業

➤ 消防設備工事

- ✓ 今後も、数年に渡り首都圏の再開発工事は続きますので、高い水準が継続するものと思われます。

➤ 防災用貯水タンク(マルチアクア)

- ✓ 当社と株アクアリザーブの合併により、防災用貯水タンクの事業は、当社が承継いたしました。
- ✓ 販売につきましては、当社の継手事業の営業社員もマルチアクアの販売に導入して、販路拡大に努めて参ります。

◆ 自動車・ロボット事業

➤ 自動車分野

- ✓ 自動車メーカーでは、部材等の供給遅延による減産が、今後も発生するものと思われませんが、引き続き堅調に推移する見込みです。

➤ ロボット分野

- ✓ 半導体不足の影響はありますが、需要が旺盛であり、産業用ロボット向けと半導体工場の機械装置向けの売上が増加する見込みです。自動車分野に比べ利益率が高く、セグメントの営業利益にも貢献するものと思われます。

◆ 介護事業

- 介護用品のレンタルを軸に、商品販売にも注力し、底堅い推移となる見込みです。

3. 会計基準の変更による配当金等への影響

会計基準の変更による配当金等への影響



◆ 当期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用しました。これに伴う現時点で想定される主な影響につきましては、下記のとおりです。

➤ 損益への影響

✓ 当期以降に工事完成基準で計上を予定していた工事案件が、会計基準の変更により、当1Qから工事進行基準に変更となり、工事の進捗に応じて四半期の業績に反映されます。尚、このことによる2022年2月9日付の当期業績予想への影響は、軽微と考えております。

➤ 資産への影響

✓ 上記の工事進行基準に変更となった工事については、収益認識に関する会計基準に定められた経過的な取扱いに従い、未計上であった前期までの工事収益を、当1Qに調整しました。その結果、当1Q期首の利益剰余金が、前期末比で80百万円増加しました。

➤ 配当金への影響(増配)

- ✓ 当1Q業績が好調なことと、上記のとおり配当原資である利益剰余金が増額となったことから、当期の配当につきまして、2022年2月9日付の配当予想比で増配することを検討しています。
- ✓ 当期の配当金額が、2022年2月9日付の配当予想から変更となる場合は、適時に開示いたします。
- ✓ 中間配当金は、当期の利益剰余金、2Qの業績および将来予測等を総合的に検討したうえで決定いたします。

【ご参考】当期配当予想(2022年2月9日付)

	年間配当金		
	中間	期末	合計
2021年12月期	20.0円	21.0円	41.0円
2022年12月期(予想)	20.0円	21.0円	41.0円

(補足資料) テクノフレックスの概要

会社名	株式会社テクノフレックス
代表者名	代表取締役社長 前島 岳
本社所在地	東京都台東区蔵前一丁目5番1号
資本金	10億円(2022年3月31日現在)
設立日	1977年8月
決算期	12月決算
事業内容	継手事業 / 防災・工事事業 / 自動車・ロボット事業 / 介護事業
従業員数	単体:374名(2021年12月31日現在) 連結:1,006名 ※臨時雇用者を含む

沿革



- ◆ (継手事業) (株)東京螺旋管製作所と東洋螺旋管工業(株)は、当社と合併し、現在は(株)テクノフレックスとなっています。
- ◆ (防災・工事業) (株)防災企画は、(株)TFエンジニアリングと合併し、現在は(株)TFエンジニアリングとなっています。
(株)アクアリザーブは、当社と合併し、現在は(株)テクノフレックスとなっています。

皆様の生活とのかかわり



◆ テクノフレックスグループは、「生活インフラ」「産業・先端技術」「防災」「介護」の4つの分野で、皆様の暮らす社会を支える事業を展開しています。

The infographic is a central graphic with the text "TECHNOFLEX GROUP" in a white circle. It is divided into four colored quadrants, each representing a business segment with several sub-images and labels:

- 生活インフラ (Life Infrastructure) - Light Blue Quadrant:**
 - 水道・ガス (Water/Gas): Image of a truck installing an SDF flex into a water main pipe. Label: "水道本管に挿入される SDFフレキ".
 - エネルギー (Energy): Image of an H2 station. Label: "水素ステーション".
- 産業・先端技術 (Industry/Advanced Technology) - Orange Quadrant:**
 - 半導体 (Semiconductors): Image of a semiconductor factory. Label: "半導体工場".
 - 医療機器 (Medical Equipment): Image of an MRI machine. Label: "MRI装置".
 - 自動・無人化 (Automation/Unmanned): Image of industrial robots. Label: "産業用ロボット".
- 介護 (Care) - Purple Quadrant:**
 - リフォーム (Renovation): Image of a hand holding a shower head. Label: "トイレに後付けされた手すり".
 - 販売・レンタル (Sales/Rental): Image of a nursing bed. Label: "介護用ベッド・補助具".
 - リネン (Linens): Image of a person changing a sheet. Label: "いつも清潔な介護用品".
- 防災 (Disaster) - Green Quadrant:**
 - 地震 (Earthquake): Image of skyscrapers. Label: "インテリジェントビル".
 - 風水害 (Water/Wind Damage): Image of hands being washed under a faucet. Label: "断水時にマルチアクアから取水".
 - 火災 (Fire): Image of a fire with a sprinkler. Label: "スプリンクラー消火設備".

※ 上記の分野は、当社グループの事業を、皆様の生活に係る4つの分野に整理したものであり、当社の会計上の事業セグメントとは異なります。

① 継手事業



② 防災・工事事業



③ 自動車・ロボット事業



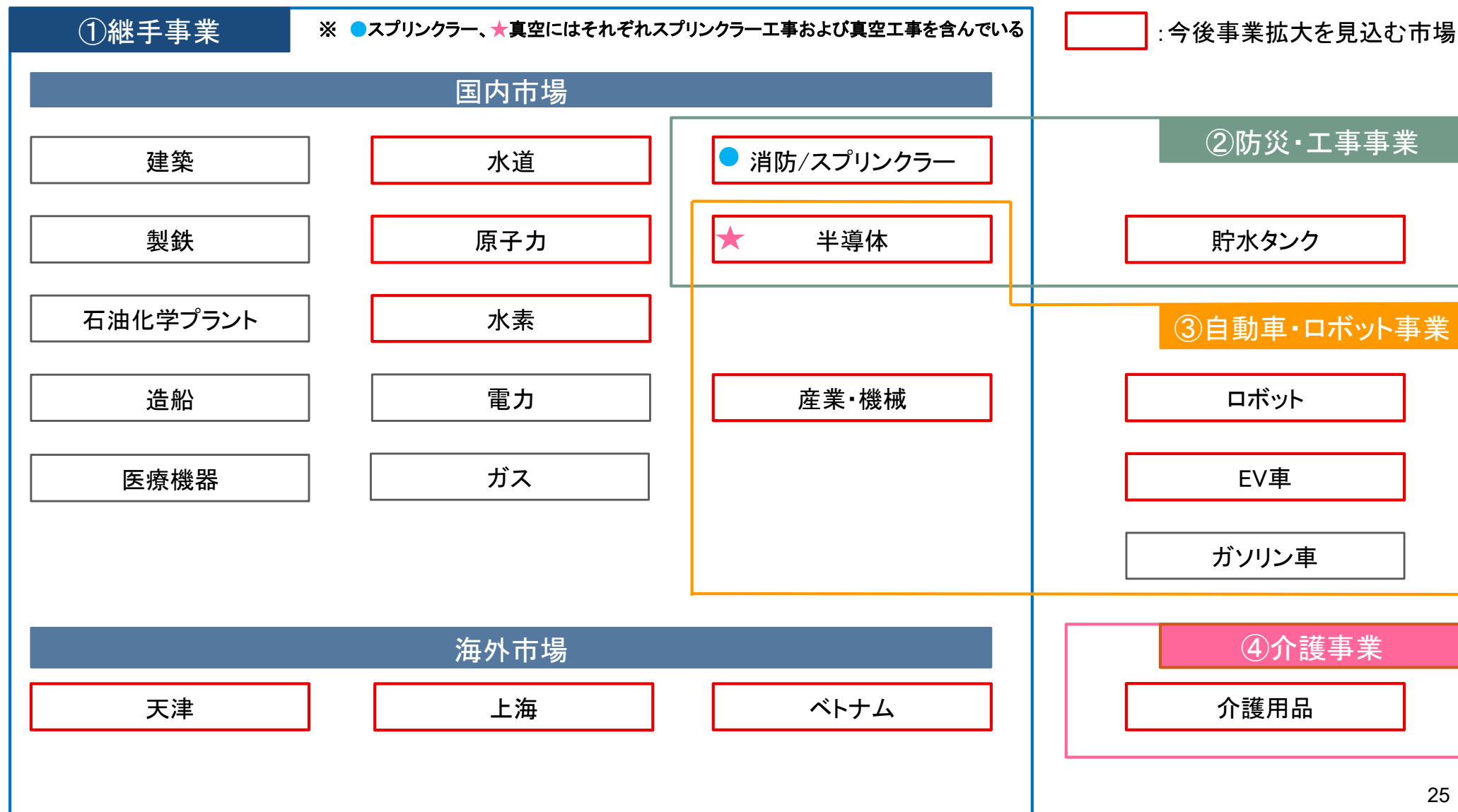
④ 介護事業



マーケットと4つの事業セグメント



- 当社グループがターゲットとするマーケットは多岐にわたりますが、特に事業拡大を見込む市場としては水道、原子力、水素、消防/スプリンクラー、半導体、産業・機械、貯水タンク、ロボット、EV車、介護用品、海外市場が挙げられます。



- ◆ 管継手 : 管と管のつなぎ目
 - 固定式 : T字型・L字型など固定形状の継手
 - 可撓式 : 継手自体が曲がったり伸び縮みしたりできる継手

テクノフレックス

◆ テクノフレックスの管継手は大きく3種類

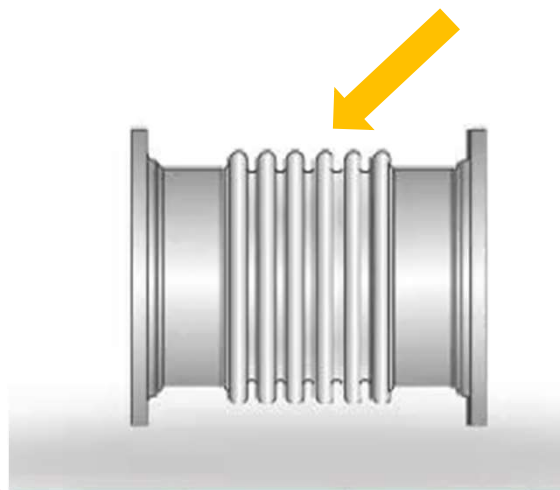
【フレキシブル継手】

全体が曲がる継手



【伸縮管継手】

波状の部分で伸縮が可能



【真空機器】

真空配管用の継手・金属部品



事業セグメント 1 継手事業 ①フレキシブル継手

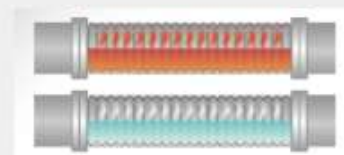
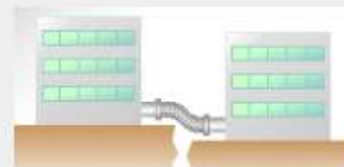


- ◆配管作業を容易に ▶ 作業効率向上。経験の浅い作業員でも設置でき、人手不足の解消にも貢献。
- ◆耐震性 ▶ 地震への対策から、耐震性の需要が高まる。

町のあちこちに
テクノフレックス



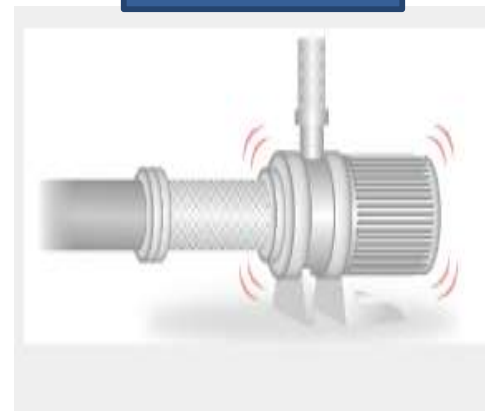
変位吸収



機械的な動作に
対応



振動吸収



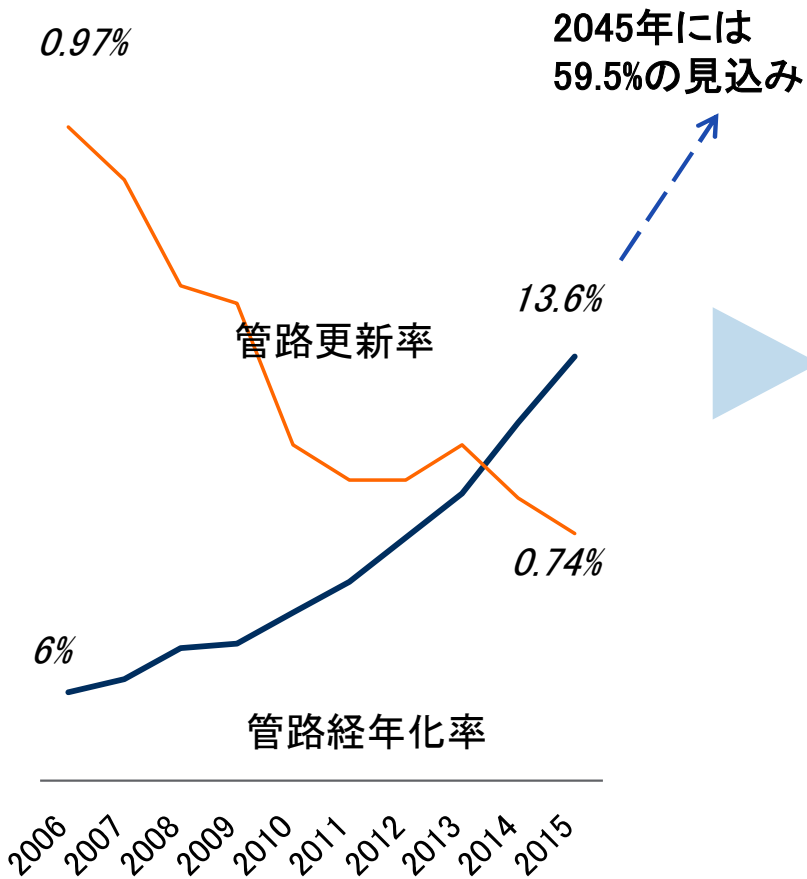
作業効率



大地震で曲がっても
オイル漏れの無い
フレキシブル継手の例



水道の老朽化は進む一方で、
管路更新が進んでいない。



SDF工法

- 掘り起こし困難な場所に最適。
- 既存の水道管の中を通して補修。



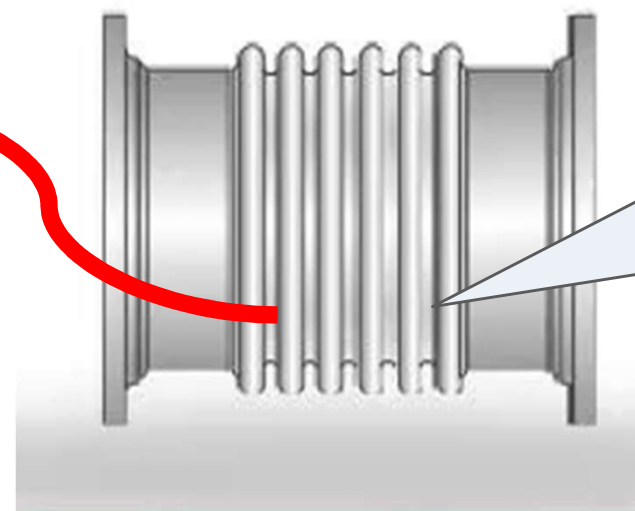
SDF工法向けにフレキ管を供給

第1回インフラメンテナンス大賞
(厚生労働大臣賞)

出所: 最近の水道行政の動向について(厚生労働省)

- ◆ 地震や熱膨張など、様々な負荷から設備機器と配管を守ります。
- ◆ 耐震性に優れ、配管の破損や脱落による流体漏洩等の2次災害を防止。
- ◆ 設置場所

エネルギー関連	石油・化学プラント、電力プラント、LNGプラント、LNG船、水素ステーション、水素運搬船など。
ライフライン	ガス・水道など。
大規模産業設備	製鉄プラントなど。



波状の部分が、伸縮します。角度を付けることもできます。

- ◆ 真空配管とは、微細なゴミも嫌う設備などに設置されるクリーンな配管のこと。
 - 真空機器の製品は、厳しい検査に合格した、気密性に優れた製品。
 - ステンレス製の継手は、組織を均一化するため、熱処理を施す。
- ◆ 製品供給に加え、配管の設置工事・プレハブ加工も一括で受けられるのが、当社の強み。
- ◆ 使用用途

半導体製造装置、FPD製造装置、真空ポンプ、医療機器、医薬品・食品工場などの機械装置

装置間の真空配管

真空ポンプの配管

温度調節用の配管(チラーホース、クライオホース)

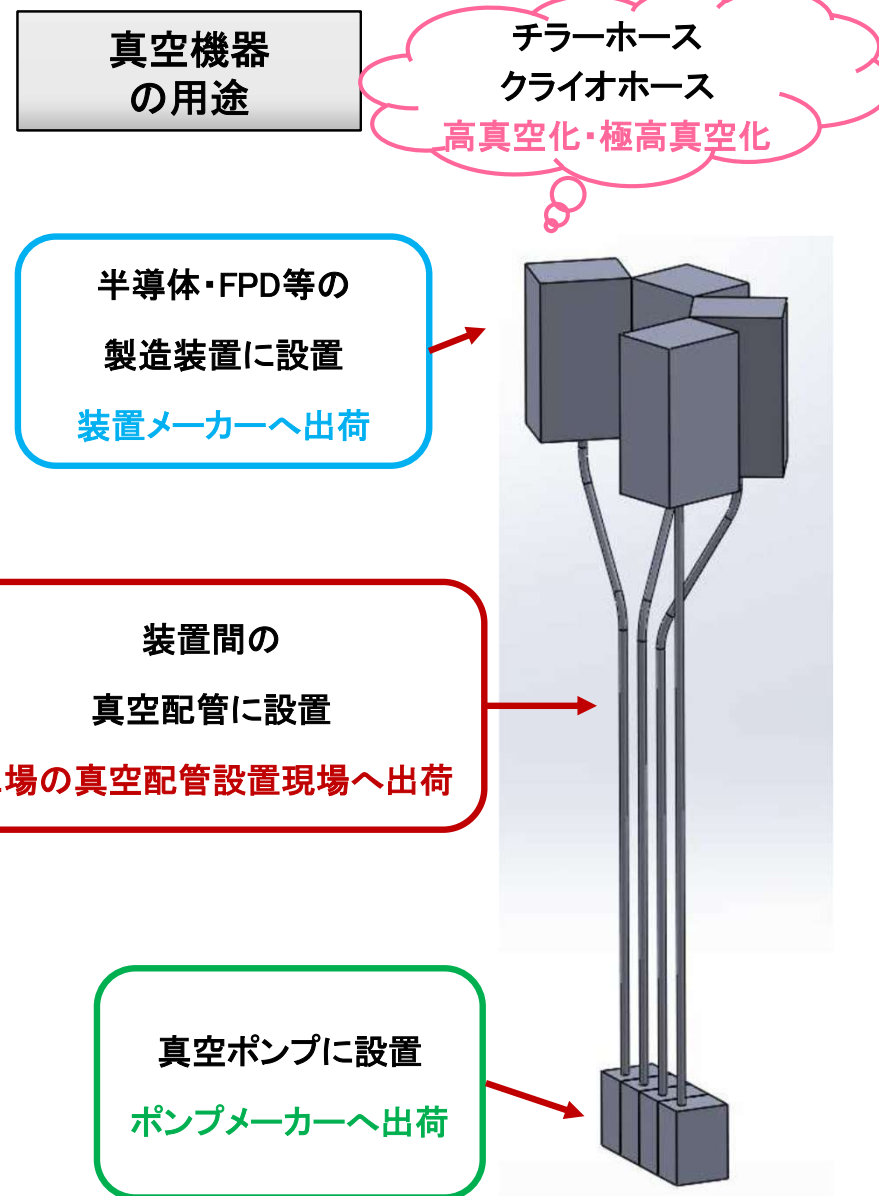


● 当期の状況

- ◆ 世界的な半導体需要の高まりから、半導体製造メーカーによる工場の新設や製造ラインの増設が活況。
- ◆ 半導体の製造(特に前工程)にはクリーンルーム等の真空空間が必要なため、真空ポンプと真空配管を設置。
 - 真空機器の需要が拡大。
- ◆ 当社の真空機器は、半導体・FPD等の製造装置用、真空ポンプ用、装置間真空配管用の3つの用途で、使用。
- ◆ 真空配管の設置工事と工場でのプレハブ加工も請け負っており、製品と工事の両面でサポート。

● 成長イメージ

- ◆ 真空配管は、半導体のみならず、様々な分野の工場で需要が増加。
- ◆ 高度な医療用の診断装置に設置。
- ◆ チラーホース、クライオホースのマーケットシェア獲得。
 - ※ 低温・極低温の空間をつくるための冷却用長尺ホース。近年は加温でも使用。半導体工場等では、高真空・極高真空の空間をつくるためのクライオポンプとクリーンルームとをつなぐ配管に設置。



- ◆ 配管を軸に、川下戦略による防災・工事事業への参入。
- ◆ 防災・工事事業には、3つの事業。

消火設備の配管工事

- スプリンクラー等の消火設備の配管工事
- 工場で行う配管のプレハブ加工

自動穴あけ機 ▶



自動切断機

貯水機能付給水装置

- 配管に付加価値をつけた貯水機能付給水管装置
- 災害等による断水時に水の供給を確保。



水道管及び電柱の切断装置

- 自走しながら配管や電柱を切断。
- 東京都が推奨する無電柱化に貢献。



自動車・ロボット事業

- 金属塑性技術を生かした、金属部品の軽量化、材料費の低減及び強度増。
- 多くの自動車メーカーで使用。
- ロボット分野の需要拡大。
- 半導体工場等の機械装置用部品にも採用。

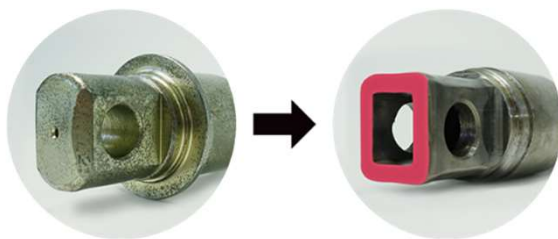
①



②



③



従来製品

パイプ化製品

介護事業

- ケアプランに沿った福祉用具レンタル
- 福祉用具の販売
- 介護用マットレスの洗浄
- 住宅バリアフリー化工事
- 介護サービスの創造



テクノフレックスグループの将来を見据える上で重要なキーワード



■ 当グループを取り巻く環境に大きなインパクトを与える重要キーワードを5つピックアップしました

重要キーワード	市場にもたらす変化	該当セグメント
1 気候変動等による災害増加に対する 防災意識の高まり (国土強靱化計画)	✓ 防災設備需要の拡大 ✓ 国民の防災意識の高まり	✓ 継手事業 ✓ 防災・工事事業
2 戦後日本が築いてきた 社会インフラ老朽化対応 (水道の老朽化対応、都市再開発)	✓ 水道整備関連の予算拡充に伴う取替需要増加 ✓ 都市再開発に伴うビル等の建替需要増加	✓ 継手事業 ✓ 防災・工事事業
3 AIと自動化 (5G商用化、ロボティクス)	✓ 半導体市場の拡大 ✓ ロボット市場の拡大	✓ 継手事業 ✓ 自動車・ロボット事業
4 クリーンエネルギー (脱炭素化、脱ガソリン、脱エンジン)	✓ エンジン搭載車の減少、EV化 ✓ 化石燃料以外の燃料(水素等)の輸送・貯蔵 ✓ クリーンエネルギー設備増設	✓ 継手事業 ✓ 自動車・ロボット事業
5 ヘルスケア (地域包括ケアシステム推進)	✓ 在宅介護が支援されることによる、各家庭向けの福祉用具需要の高まり	✓ 介護事業 ✓ 自動車・ロボット事業

国内マーケットの動向サマリ(1/3)



- 産業・機械と電力は成長、製鉄、石油化学プラント、ガスは低迷を予想しています
- 建築は、中長期的には需要拡大が見込まれるものの、働き手離職等のリスクがあり、不安要素ありと評価しています

マーケット		今後5年間の動向
継手	建築	✓ 中長期的には都市再開発や防災対策に伴う需要を見込めるものの、働き手の大量離職等の不安要素があり下振れのリスクあり
	製鉄	✓ 主要販売先である造船・航空機について今後低迷が予想されることや、EV化により鉄の必要量が減少する可能性があり、今後の見通しは厳しい
	石油化学プラント	✓ 石油化学製品の供給過多やプラスチックに対する規制強化等により、石油化学業界にて積極的な設備投資を期待することは難しいため、低迷傾向が継続するリスクあり
	産業・機械	✓ 半導体等の成長産業での設備投資が見込まれる。 ✓ メインユーザー層である中堅・中小企業の設備投資は冷え込む予想。
	ガス	✓ 人口減少や温暖化対策等による需要減少リスクあり
	電力	✓ 政府の推進する再生エネルギー導入拡大に向け、送電インフラ整備に伴う設備投資需要が見込まれることから、今後の見通しは良好

国内マーケットの動向サマリ(2/3)



- 消防・スプリンクラー、水道、半導体、水素は成長、造船は低迷を予想しています
- 原子力は堅調予測ですが、再生エネ動向次第で縮退するリスクを有するため、不安要素ありと評価しています

マーケット		今後5年間の動向
継手	造船	✓ 将来的には水素運搬船に期待が持てるが、当面の間は、コロナの影響により輸送量が減少し、外部環境としては厳しい見通し
	消防 スプリンクラー	✓ スプリンクラー設置義務の課される大型施設の新設が引き続き見込まれること、及び過去に設置したスプリンクラーの取替需要が見込まれることから、今後の市場動向は明るい見通し
	水道	✓ 水道管路の老朽化が進んでおり、今後の更新需要が期待される ✓ 成長ドライバーであるSDF工法に対する需要も今後増加見込み
	半導体	✓ 当社グループのターゲットとするメモリーの市場規模は今後右肩上がりに成長見込み ✓ NANDシェア上位5社による大規模設備投資が進行中。
	原子力	✓ 政府による原子力活用の提言により、当面の需要は堅調予測 ✓ 一方で再生エネルギーの成長状況により、将来的には稼働が抑えられ縮退するリスクもあり
	水素	✓ 水素燃料の市場規模が今後拡大していくことに伴い、今後の見通しは良好

国内マーケットの動向サマリ(3/3)



- 消防設備工事、貯水タンク、ロボット、介護事業は成長、ガソリン車は現状維持を予想しています
- EV車は成長見込みの一方、低価格化や社会インフラ整備といった課題を有するため、不安要素ありと評価しています

マーケット		今後5年間の動向
防災 工事	消防設備工事	<ul style="list-style-type: none">✓ 半導体工場、データセンターの増設により、消防設備工事が増加✓ 都市の再開発による建物の高層化・大型化で、消防設備工事が増加
	貯水タンク	<ul style="list-style-type: none">✓ 個人/法人の備蓄水に対する需要の高まりや、災害時の一時滞在施設の設置推進の動きにより、今後の需要は拡大の見通し
自動車 ロボット	ガソリン車	<ul style="list-style-type: none">✓ 自動車需要は世界的に高まりを見せる一方で、EV車の割合が増加していくことから、差し当たっては緩やかな増加/横ばい傾向が予想される
	EV車	<ul style="list-style-type: none">✓ 脱炭素に向けた動きもあり、今後大きく伸長する見通し✓ 一方で低価格化や社会インフラ整備などの課題もあり、普及が遅れるリスクもあり
	ロボット	<ul style="list-style-type: none">✓ 自動車を中心とした低価格化の要請に応える形で需要を大きく拡大していく見通し
	介護	<ul style="list-style-type: none">✓ 少子高齢化の進行に伴い、今後の需要は引き続き伸長していく見込み✓ 高齢者人口の増加と併せて、中国で廉価な福祉用具が流通しており、国内販売市場を開拓できる余地あり

2022年12月期 第1四半期決算



補足説明資料 - 完 -

株式会社テクノフレックス
証券コード:3449